

〇市町村男女共同参画推進委員長と知事との意見交換会

(R3.6.1 防災新館 19名参加)

<p>集約に強く反対。男女共同参画の灯が消えてしまう。</p>
<p>郡内に県の施設があることは重要。センターがもっと利用されるよう地域に宣伝していくべき。</p>
<p>ICTもいいが、顔を合わせて集まって話ができる拠点も大事。減ってしまうのは残念。外部評価を受けて、県はどのような対応をしてきたのか聞きたい。</p>
<p>びゅあ峡南は距離があるが、峡南4町の拠点として利用してきた。集約化されると、今までの推進委員の活動拠点がなくなってしまう。</p>
<p>学校の統廃合と同じように、学校がなくなった地域には人もいなくなる。拠点があれば交流もでき、独自の活動もできる。なくさないでほしい。</p>
<p>びゅあ峡南の廃止には反対だが、各市町村の施設を利用する方向を検討してもよいのではないか。</p>
<p>びゅあ峡南もびゅあ富士もびゅあ総合に引けを取らない事業をやっていたのでとても残念。びゅあ総合は県との結びつきが弱くなっていて、市町村リーダー会議があっても、推進委員長が集まらない。</p>
<p>センターの稼働率が低いことは聞いているがなぜ利用されていないのかが分からないため、地域の委員長に聞いてみたい。</p>
<p>センターは利用しないため、その必要性は分からないが、女性だけでなく男性も相談できる場を残すことは大事。施設がなくなることによって困る人が出ないようにしてほしい。</p>
<p>利用したことがないから意見は差し控えるが、よく検討してもらいたい。</p>
<p>活動のためにびゅあ富士を使うことは無かった。年に1回のフェスティバルで行く程度。利用してもらえそうな対策をして、それでも改善されなければ県民の理解も得られるのではないか。</p>
<p>一番近いびゅあでもわざわざ時間をかけて行ってまで利用していない。近くにある別の施設を使っている。</p>
<p>大きい県でもセンターが1か所しかない。活動に対して手厚く支援できるのであれば、集約化もよい。</p>
<p>これまでセンターはフェスティバルの際使う程度。遠い拠点に出かける時間を考えると、ICTを活用するのがいいと思う。地元小さな部屋があればいくらかでも活動できる。</p>
<p>集約について各地区で温度差がある。北麓地域でびゅあ富士に集まって何かをするということはない。今の状況でお金をかけて維持するのは無理といわれても仕方ない。もっとどうすれば利用されるかを議論したらいいと思う。</p>

○女性団体と知事との意見交換会

(R3.6.3 防災新館 22名参加)

日本はジェンダーギャップ指数が低く、山梨県は日本の中でも低い。男女共同参画を進めるために拠点が必要。拠点に行くことで意識が変わる。ぜひ拠点を残してほしい。

指定管理者に丸投げではなく県のサポートが必要。施設が老朽化し、維持管理にコストがかかることは理解できるが拠点がなくなることは別問題。エネルギーコストが抑えられる小さな施設に作り替えたらどうか。施設維持のコストが一番の問題であるならばソフト面の充実や予算の付け方を変えるなど包み隠さずに一緒に考えていきたい。

県民が知らない中で、集約化の検討が進められてきたことが残念。

オンラインは世代が違い違和感がある。顔を合わせて話をしてこそその活動である。教育、文化、芸術は人を育てるもので、お金を注ぐべき。

ぴゅあ峡南を存続してほしい。峡南地域を見捨てないでほしい。開館してから10年間くらいは、レベルの高い講座が行われていた。人事交流で教員がいて、ぴゅあで培った男女共同参画の知識を学校現場に還元した。今は勉強になる講座が少ない。県の強力な指導が必要だと思う。

郡内地域に県の施設があったことはよかった。継続的な活動ができるような方策を講じてもらえることは賛成。センターの統廃合はもう少し長い目で見てもらいたい。拠点となる施設は各市町村でも考えるべきであったと思う。

もっと研修を受けたいと思っても、若い女性は時間がない。集約化するにしても、女性が活躍できる環境を整えてほしい。

ジェンダー平等教育が心と体の健康に直結する重要な課題であることが、行政や教育行政に理解してもらえない。若者を中心に据えたジェンダー平等教育を統括する部署を設け県全体で取り組みを進めてほしい。

○利用者と県民生活部長との意見交換会

<p>峡東地域</p> <p>R3.6.4 東山梨 合同庁舎 7名参加</p>	<p>峡南、富士の利用者がたくさんいることが分かった。男女共同参画は、教育や文化と一緒に時間がかかるもの。グローバル社会で男女共同参画は必須。山梨県は何を育て何を目指すべきかよく考えるべき。老朽化した建物を限られた予算の中で維持することは大変なことは分かるが教育・文化を守ることはとても重要。</p> <p>男女共同参画は切れ目なく推進することが大事。センターの集約化だが、学ぶことはお金に替えられない重要なことである。</p> <p>20年近く前にアドバイザー養成講座を受講した。指定管理になったことで、ぴゅあが変わった。地域の拠点は残してほしいが、老朽化した今の施設を残してほしいわけではない。ICTの講座もいいが、場所だけでなく、関わる人、解説する人が必要。</p> <p>県には地域の様子を知ってもらい、その上でよく検討して集約について決めてもらいたい。</p>
<p>峡南地域</p> <p>R3.6.7 西八代 合同庁舎 8名参加</p>	<p>意見交換の場はもっと早い段階ですべきだった。利用者の意見をよく聴いたうえで、県が峡南を廃止するかどうかは県が見極めればいい。</p> <p>ぴゅあ峡南ができたこと、大先輩が築いた歴史を無駄にしたくない。仲間づくりはオンラインではできない。</p> <p>ぴゅあ峡南が設置されたころから、自分たちの老後を見据えながら学習してきた。老後になった今、ぴゅあを活用していきいきとした生活を送るつもりが廃止の議論がでて困惑している。</p> <p>施設をなくすことは後退以外のなにものでもない。財政の事情は分かるが、県民に直接関わるものにお金をかけてほしい。</p> <p>ぴゅあ峡南を廃止してほしくないから、団体活動の支援策、機能強化策は聞きたくない。</p> <p>峡南地域に拠点は必要。新たな場所でなくぴゅあ峡南を使えばよい。中部横断道が開通すれば甲府からも行きやすくなる。</p> <p>地域にある公民館は使っているが、他町村との交流ができない。他町村と交流し仲間づくりを広げていきたいからぴゅあ峡南は必要。</p>

<p>富士・東部 地域</p> <p>R3.6.8 南都留 合同庁舎 23名参加</p>	<p>ぴゅあ富士で活動し、フェスティバルにも携わってきた。毎年活動を積み重ね、男女共同参画が市民に浸透してきた。拠点があったから積み重ねることができた。文化は人づくりであり、そのためには拠点が必要。</p> <p>山梨県民として、中央を残し地方を切ることが、納得できない。老朽化した施設も工夫して使う努力をしたらどうか。</p>
	<p>ぴゅあ峡南と違いぴゅあ富士は稼働率が著しく低いわけではない。県の不要施設を都留市が負担するのは無理。市に移譲したとしても貸館は一定の継続ができるかもしれないが、男女共同参画事業は減るはず。ハコモノを減らさなければならないのは理解ができるが、3館あるメリットを活かして男女共同参画を進めてほしい。</p>
	<p>県の現状として一定の成果があったとあるが納得いかない。女性の就業率が上がったといっても非正規雇用が多い。財源不足で存続できないのが大きな理由ならばはっきりそう言ってほしい。</p> <p>「廃止ありきではない」と知事がいうから存続をと訴える。本当のことを言ってもらわないと実のある話ができない。どんな属性の人も居場所があることが大事。建物がなくなっても交流や活動を続けられるよう、話し合いの場を設けてほしい。</p>
	<p>3つの施設を1つにするというのは、教育水準を上げたいと言って、自宅で学習してください、塾へ行ってください、と言っているのと同じ。なぜ県だけで検討するのか。財政面に問題があるなら企業から協賛金を出してもらうほかクラウドファンディング等の方法があるはず。できることをやった上で結論を出してほしい。</p>
	<p>拠点がなくなるという話を聞いて寂しくなった。スクラップアンドビルドも分かるが、検討委員会を作り地道に検討していくことが大事。</p>
	<p>人は集まって良いアイデアが生まれる。男女共同参画は住民の生活全ての根底にあるもの。集約化は住民と話をよくした上での結論でなければならない。</p>

<p>(富士・東部地域)</p>	<p>子育てサークルでぴゅあ富士を利用していた。身近に活動できる場所があり、いつもそこに職員がいることがありがたかった。ぴゅあ富士があることで、郡内にも目が向けられていると感じた。運転が苦手な女性も多く、甲府までは高速道路で緊張しながら運転していかなければならない。女性の特性も考えたうえで方向性を出してほしい。郡内にぴゅあ富士がある意義を考えてほしい。どのような決定になったとしても、女性、子どもを見捨てないでほしい。</p>
	<p>行政、政治家は誠実さが大事。言うこととやることが一致していなければならない。今日は意見を聴くだけでなく持ち帰って検討してほしい。6月議会を通したい思惑が見える。結論を急ぐと山梨にとって良いことはない。</p>
	<p>拠点があるから学ぶことも発信することもできた。地域の人育てを真剣にしなければならないのに、青少年センターも少年自然の家も集約されてしまう。人育てが大事なのになぜ集約するのか。みんなで協力すれば建物の運営に必要な2千万円くらいなんとかなる。昨日の議会への説明では集約化ありきだったと聞いた。知事の言うこととやっていることが違うと感じた。</p>
	<p>センターが3つもあることが自慢だった。今日の皆の意見を知事に事細かに伝えてほしい。</p>
	<p>男女共同参画は一定の成果があったとの説明があったが、まだ途上。依然として世の中は男社会である。進まない実態はセンターを集約すれば進むのか。ぴゅあ富士を使うことで気づきがあり、他と交流することで自らを知ることができる。進まない実態がどうしたら進むのかを皆で話し合うべき。施設はいつかは老朽化するがその時考えたらよい。これからはSDGsを学ぶ総合的な社会教育の場も考えていかなければならない。</p>

<p>中北地域</p> <p>R3. 6. 9 防災新館 15名参加</p>	<p>資料中成果があったという「男は仕事女は家庭」に反対と考える人の割合について、H17年度以降15年間で13%の増加だが、これが成果と言えるのか。人口当たりの利用割合は総合より富士や峡南の方が高い。稼働率が低くても必要なテーマの学習は地道にやるべき。意識改革は稼働率で計るべきではない。</p>
	<p>ジェンダー平等は稼働率だけで計れない。差別に苦しむ女性が声をあげられる拠り所がセンターである。女性の苦しみを受け止めてほしい。リモートではできないから廃止してはいけない。</p> <p>サークル活動をしている人が地域を活性化する。センターは未来に向けたプロジェクトである。センターの廃止は時代に逆行する。</p>
	<p>意見交換会の目的は何か。今後の案の中に2館を残す案はあるのか。意見交換会で出た意見の取り扱いはどうするのか。出た意見をまとめて示してほしい。いくら施設がリニューアルされても、住んでいる人たちが幸せでなければ意味がない。</p>
	<p>ぴゅあ総合で若いころから学習してきた。「女性のつばさ」や海外研修で県内の女性は必死に勉強した。今はそういった機会がなく、市町村の男女共同参画も進んでいない。推進委員になっている人の中に男女共同参画を理解していない人がいる。市町村がもっと取り組みを強化しなければいけない。女性議員が少ない。女性議員が少ないと、政策に女性や子どもに関することが反映されない。男女共同参画が停滞していることは確かだ。センターのあり方をもう一度考えてほしい。</p>
	<p>集約に反対する県民運動がとても大きくなったことはとてもすごいこと。ぴゅあは老朽化しても求められている施設である。差別や性暴力、ジェンダー平等に世界中が動いている。県外からも署名が集まった。今後は、性と人権教育、性暴力防止教室など、啓蒙する機関がたくさんあってほしい。貧困家庭へ食糧や衣服を届ける取り組みはぴゅあでもできる。生理用品がぴゅあのトイレには置いてある、とアピールすればいい。子育て応援などもっとやってほしい企画を指定管理者も考える必要がある。</p>
	<p>集約化の方針を新聞で知ったのは残念。もっと早くに意見交換会を設けるべきだった。やらないよりやる方がいいが。</p>
	<p>ジェンダー平等はまだ達成されていない。拠点は必要。</p>

<p>(中北地域)</p>	<p>ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士は地元で根差している。何かあったときにぴゅあに相談でき、ぴゅあから戻って地域に伝えるというキャッチボールができる。地域に根差した拠点が大事である。</p>
	<p>知事が6月1日の意見交換会で「そんなに時間があるわけではない」と言ったが今後はどう進めていくのか。県側として意見交換会での意見をどう受け止めているのか情報がほしい。そこからスタートだと思っている。</p>
	<p>ぴゅあ峡南でDVの展示や相談ができるようにしてほしい。閉鎖になると利用している南部町民やその他の地域の人たちが行く場所がなくなるのは困る。富士山登山鉄道を作るお金をぴゅあに使ってほしい。</p>